

年 頭 所 感

莊 原 和 作

明けましておめでとう。

辰年を迎えて元気にこの一年をお活動下さい。

編集の方からのご注文にしたがい一言述べさせていただきます。

ここ何年かの間の方の経過を顧みると、まことに著しい進歩が見られる。それは多く研究者の努力が経営各部門の協力を得て実った結果である。東洋曹達本来の事業であるア法ソーダは長年の問題の数々が手際よく整備され、異色ある電解ソーダ、塩安、EDBの新設など、さらに工場全般にわたりキメ細かく考えられ改善された様相は、昔を知り今を見る人には一目瞭然であり、その成果は営業成績向上ということに集大成されている。

研究がこのように現実の利益を生み、発展を招来した効果もさることながら、この間の努力、失敗もあり、抜け切れない壁にぶつかったこともあろうが、その蓄積が会社の研究ポテンシアルを強化し、また一般に研究なるものの重要性が認識せられ、これを尊重する気風が醸成されたことは、会社将来に大きな働きをするもので、社格の一段と向上しつつあることを思わしめ、ご同慶の次第である。

日本経済の急速な発展は世界の驚異とするところであり、私も先年アメリカの Chemical Market Research Association の San Francisco Meeting に招かれていった時に、かの地の大化学会社、大ケミカルコンサルタントの人達にそれに関していろいろ質問を受けて、かれらがいかに日本の経済成長に関心を持っているかを知った。その時の話の一つ、資源に乏しい日本では重要な基礎であるア法ソーダ工業確立のため、塩安の肥料効果の研究を徹底して行い、この工場にアンモニア工場を並設して物質効率をあげているということなどは、天恵豊かな米国人を驚かした。

話は少し余談にわたったが、要するに天然資源に恵まれない日本の経済、産業が急速度に成長したことは、日本人の経営力、勤勉、科学、技術、勤労上の能力などにおいて優れたものがあると自信をもっていいと思う。

しかし、一方われわれは重大な弱点をかかえていることを忘れてはならない。それは日本の産業はなるほど盛大になった。業種によっては世界一流である。しかしそのトップ技術のかなりは舶来で日本生れではない。中古技術を買ってきて使いこなしがうまいので、もうけているともいえる。真に新しい技術の取得は条件が厳しくなる。それに加えて貿易の自由化は進む。結局、日本産業振興への本格的な大道は、こちらも独自の発明力を養って人の持たないものを

創成して、対等の立場で競争し、取引し、または協力するという以外にはあり得ない。現在の状態は科学歴、研究歴のまだ浅い日本の一時の弥縫策と心得て進むべきである。努力あるものには先は明るい。先進国の文化はますます発達し、AA諸国の勃興、東側諸国の開発など世界の市場は高度化し拡大する一方である。われわれはこの大需要に対し、供給者となって、世界の文化の発達に貢献すると同時に、自らの経済を豊かにする役割を果たすべく今や大いに勉強し準備すべき時である。研究者よ奮起せよ。

もっとも研究者とは科学者や技術者に限らない。おのおのその職場において常に多々存在する研究問題について人皆研究者である。

(相談役)